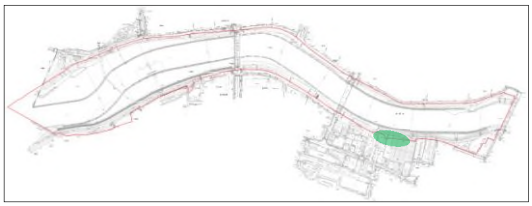
１　乙川河川緑地整備基本設計の整備方針

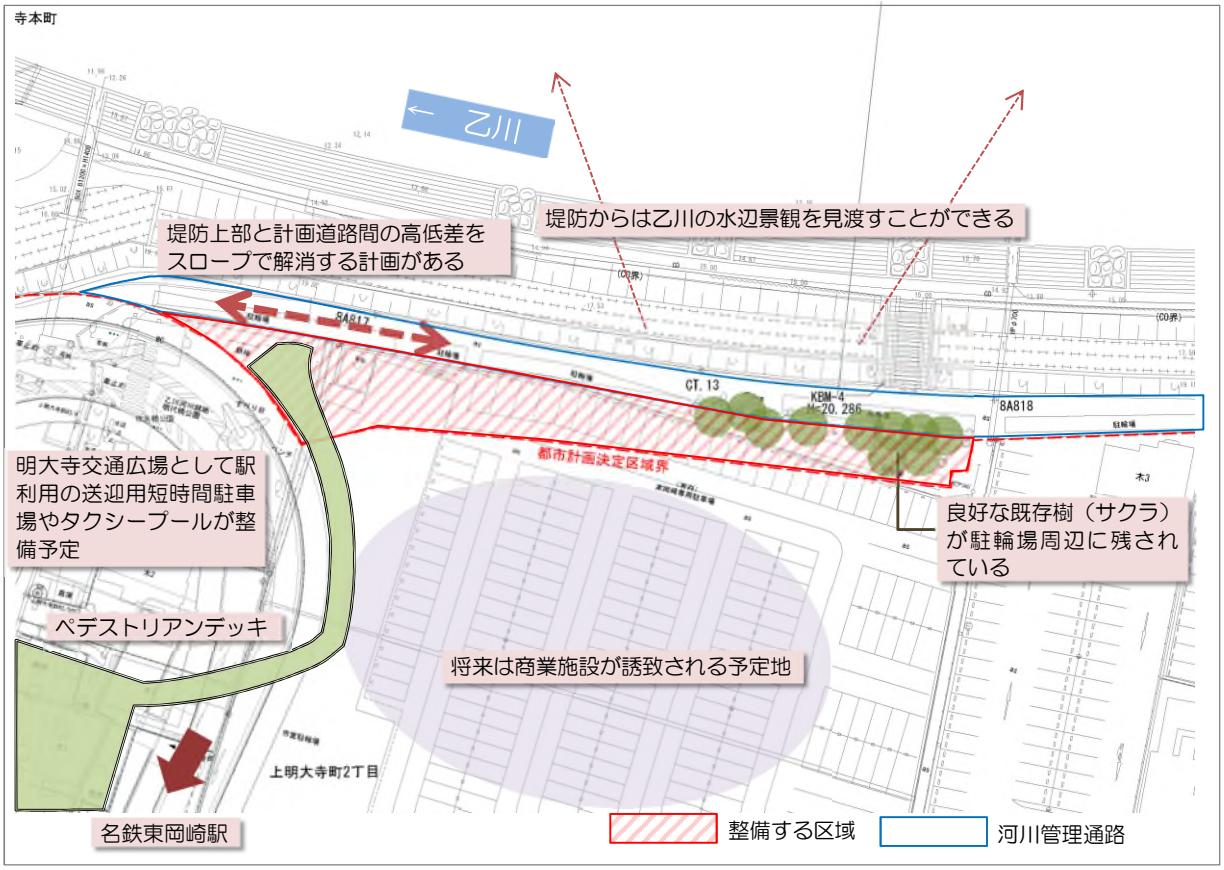
計画対象地は、乙川河川緑地内左岸側の名鉄東岡崎駅に近接したエリアであり、約９００㎡の細長い敷地となっています。

■位置図



１－１現況状況

計画対象地の現状を以下にまとめます。



１－２整備方針

・東岡崎駅から明大寺交通広場を経由して乙川河川緑地へつながる場所であることから、乙川河川空間への快適な導入エリアとしてふさわしい整備を行う。

・岡崎市外から電車やバス、自動車などを利用して現地に訪れる人のためのエントランス空間として、市の歴史が感じられる景観整備と、緑地内主要施設への適切な誘導案内を行う。

・周辺には駅の改札口からつながるペデストリアンデッキ整備や商業施設建設などの計画があり、これらの将来計画とフレキシブルに連携できる空間として整備計画を検討する。

例）ペデストリアンデッキからの階段前スペースとなる舗装広場、商業施設の前庭的な　広がりのある植栽空間、ショッピングや散策途中の休憩スペース、オープンカフェやイベント開催に利用できる多目的スペース

・良好に生育している既存樹（サクラ）はできるだけ現状のまま保存し、活用するとともに可能な限り新たに植樹する計画とする。